

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	8004	領域略称名	ヤポネシアゲノム
研究領域名	ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明		
領域代表者名 (所属等)	斎藤 成也 (国立遺伝学研究所・ゲノム・進化研究系・教授)		

(評価結果)

A－（研究領域の設定目的に照らして、概ね期待どおりの進展が認められるが、一部に遅れが認められる）

(評価結果の所見)

本研究領域は、分子人類学、ゲノム進化学、人類遺伝学、考古学、言語学、歴史学等を融合させて、日本人という狭い概念にとらわれず、日本列島に居住してきた人類集団の起源と成立の歴史について総合的に解明しようとする独創的かつ意欲的な研究を行っている。人類及び動植物のゲノムデータ解析を中心に考古学・言語学等の詳細なデータの分析を取り入れた「ゲノム歴史学」の手法により、旧石器時代から歴史時代、現代に至るヤポネシア人の歴史を多角的に研究し、日本人の起源を探究する人類学において新たな学術領域が確立されることが期待される。

動植物や現代人及び古代人のゲノム解析について興味深い成果が上げられている。特に縄文人ゲノム解読の成果は高く評価できる。また、日本列島周辺の諸言語の比較研究も着実に成果が認められる。

一方で文理融合型の研究に関しては一層の進捗が望まれる。領域代表者のリーダーシップの下、公募研究を含めた研究項目間の有機的な連携による更なる研究成果を期待したい。